

## 平成23年2月分 高知県の電力需要について

### 需要の概要

平成23年2月の販売電力量は、4億1千3百万kWh、対前年比107.5%となった。

### 需要実績

		高 知 県				全 社 計			
		当 月		累 計		当 月		累 計	
		電力量	前年比	電力量	前年比	電力量	前年比	電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	186	107.8	1,750	106.0	1,019	108.3	9,266	107.2
	電 力	39	105.3	374	101.9	173	103.3	1,769	102.7
	計	225	107.4	2,124	105.3	1,192	107.6	11,035	106.5
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	90	102.4	1,142	103.8	495	102.2	6,044	103.5
	産業用電力	98	112.8	1,139	110.1	808	103.8	9,586	106.9
	(再掲)大口電力 特定規模計	( 68)	(119.0)	( 775)	(115.0)	( 640)	(104.9)	( 7,500)	(108.3)
販売電力量 計		413	107.5	4,405	106.1	2,495	105.2	26,665	105.9

### 大口電力の産業別内訳

	当 月		累 計	
	電力量	前年比	電力量	前年比
機 械	28.8	138.5	342.6	124.3
化 学	10.7	109.2	110.9	110.4
紙・パルプ	10.8	106.7	122.8	109.7
鉱 業	3.4	114.5	35.1	113.7
織 維	1.4	104.4	15.2	108.3
鉄 鋼	3.2	115.1	32.1	113.3
そ の 他	9.5	103.9	116.0	103.3
計	67.8	119.0	774.7	115.0

### 【需要の内訳】

家庭用などの「電灯」は、1月から2月にかけての気温が前年に比べ低めに推移し、暖房需要が増加したことなどから、対前年比107.8%となった。

電灯等の低圧需要の2月分検針期間は、前月(1月)の検針日～当月(2月)の検針日の前日までの1か月間であるため、1月における低気温の影響の一部は、2月分に反映される。

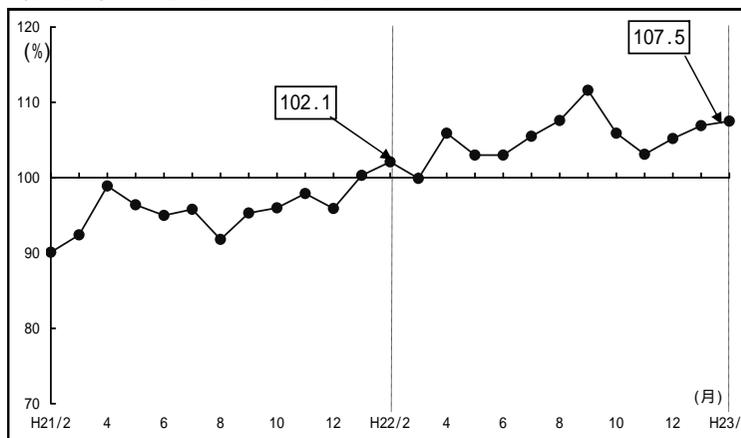
事務所ビル・大型商店などの「業務用」については、2月の気温が前年に比べ低めに推移し、暖房需要が増加したことなどから、対前年比102.4%となった。

産業用の「大口電力」は、全ての業種で前年を上回ったことから、対前年比119.0%となった。

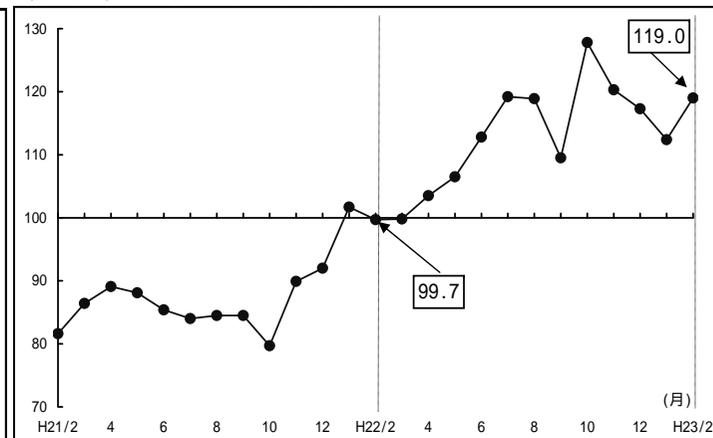
### 【参 考】

- 販売電力量は、平成22年4月以降、対前年比11ヵ月連続プラス(参考1)
- 大口電力は、平成22年4月以降、対前年比11ヵ月連続プラス(参考2)

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 大口電力の前年比の推移



(参考3) 高知市内の平均気温

	1 月				2 月			
	上旬	中旬	下旬	平均	上旬	中旬	下旬	平均
実績	5.0	3.6	4.2	4.3	7.9	6.9	12.8	8.9
平年差	1.7	2.5	1.4	1.8	2.0	0.5	5.2	2.0
前年差	0.4	2.4	3.7	2.2	0.2	1.4	1.6	0.9

(参考4) 大口電力電力量の推移

